

江原道交流ツアーに出発した一行



原州国際ウオーキング大会ツアーに出発した一行



訪韓団が出発

県日韓親善協会連と未来ウオーキング実行委

鳥取県日韓親善協会連合会の「韓国・江原道交流ツアー」の一行25人と、未来ウオーキング委員会の「韓国・原州国際ウオーキング大会ツアー」の一行35人が

原州の料理を村民らと一緒に作って交流する。

結団式で団長の薛幸夫・在日本大韓国民団鳥取県地方本部団長(61)は「日常食べているものを双方が一緒に作って日韓の相互理解を深めよう」とあいさつした。

ウオーキング大会ツアーは今年で参加10回目。22〜78歳の訪韓メンバーのうち4人は10回連続参加。江原道原州市で26、27の両日、世界25カ国から約3万人が参加して開かれる。団長の岸田寛昭・NPO法人未来理事長(58)は「来年は20回大

会、交流丸10年の節目になるので、記念イベントの打ち合わせもしていきたい」と話していた。